

分科会名	関西分科会	2009 年より活動
<p><b>【対象者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特に関西開催の分科会であれば参加しやすい方。</li> <li>○ 設立の背景は、分科会活動の活性化と、関西企業のJASPIC参加促進にあります。現在の分科会が東京近辺で開催されることが多く、魅力的な分科会があっても、関西方面から、なかなか参加できないという声が多く、そのような研究員にも分科会に参加し、大いに議論してもらおうということです。さらに関西の企業のJASPIC参加を促すきっかけづくりになれば幸いと考えています。</li> <li>○ 関西で分科会を開催することが前提で、ここに参加できる方は誰でも OK で、関西在住の研究員である必要はありません。</li> </ul> <p><b>【本年度の活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度の活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ハード・ソフト込みの組み込み開発プロセスに着目し、都度、テーマを決めて活動をしています。</li> <li>▶ 今年度のテーマは、『アジャイル』を取り上げています。テーマ設定の背景としては、多くの組織がCMMIをベースにプロセス改善を推進しています。しかしながら、現場サイドに耳を傾けると『アジャイル』を取り上げる技術者もいます。『アジャイル』プラクティスを組織のプロセスに入れ込むことにより、現場にフィットしたよりよい開発プロセスにならないかと考えています。具体的には、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アジャイルのプラクティスの洗い出しと分類分け</li> <li>・ CMMIのプレセス領域やプラクティスへの関連性の検討</li> <li>・ CMMIによるプロセス定義へのアジャイルプラクティスの反映例</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p><b>【これまでの活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ (2009)派生開発を取り上げ、清水吉男氏著「派生開発を成功させるプロセス改善の技術と極意」の輪読と内容の把握、各社のプロセスとの GAP に関するディスカッションを実施。</li> </ul> <p><b>【成果物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アジャイルのプラクティスの洗い出しと分類分け及び CMMI への関連付けマップ</li> <li>○ CMMI によるプロセス定義へのアジャイルプラクティスの反映</li> </ul>		